

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年11月			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年11月			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月22日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児、保護者の活動に対する充実感、満足感	学校下校時（特に2便下校時）は時間が短くても楽しめる活動を提供。学校休暇期間（特に夏休み）や月1程度程度の土曜、祝日開所日に行事を多数企画している。 ニーズの高い自宅送迎を極力実施している。学校下校時は早退で送迎していない医療的ケア児も学校休業時は自宅送迎を実施している。	活動内容がまんねり化しないよう、常に新しい企画を考え取り入れていく。 利用児、保護者からも活動の要望を聞き、実現できそうな企画を取り入れていく。
2	保護者とのコミュニケーション	電話やLINEを利用しながら、日々子どもの状況を保護者と共有している。 また面談時には看護師が必ず同席（必要に応じてリハ職員も）し、児童の状況について細かく保護者と話を行っている。	保護者が話しやすい雰囲気在今后も継続して作っていく。
3	活動室の広さと活動スペース確保	活動室が広く、活動の内容によって車いす椅子から降りて活動するためのマットを敷く枚数を調整する事で活動内容に合わせたスペースの確保ができています。 複数の部屋を使用して小グループ活動や体調不良時の別室対応も行っている。	子ども達が広々と遊べるスペースの確保を今後も行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設、地域の他の子ども達との交流が少ない。	学校下校後は活動時間が短く、なかなか交流活動が難しい現状がある。また、保護者からも『積極的に望んでいない』との声も多く聞かれる。 事業所として『交流活動』を強く推し進めるわけではないが、適度な地域交流は出来た方が良くと考えて取り組みを行っている。	R7年度より地域の公園で行われているあおぞらマルシェに参加。悪天候で中止となってしまったが東村山第一中学校と合同で公園の落ち葉拾いを予定するなど、地域交流を少しずつ広げようとしている。 コロナで中止となっていた隣の福祉施設との交流をR6年度より再開。他の放課後等デイサービス事業所との交流活動も今後検討している。
2	安全管理や防災についての保護者への周知不足	施設の防災や安全管理について、保護者に発信する機会が少ない。	避難訓練実施時の連絡帳への記載、保護者会、施設通信などで発信を強化していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひまわり（放課後等デイサービス）

公表日 年月日

利用児童数 42名（配布39）

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1			・広々とした空間だと思います ・見学の時しか知らないで何とも言えず ・広いです	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		2	・見学の時しか知らないで何とも言えず ・手厚く見ていただいています ・正直、いつも参加している所は見えていなくて行事で参加した時しか職員と関わった事がない ・配置されています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	4			・充分です	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27				・充分です	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27				・性格等、よく理解して接して下さっていると思います ・そう思います ・子どもを物のように扱うスタッフが一部おり、適切な配置をお願いしたい	子どもを物のように扱う職員はいないと考えています。職員の対応の中でそう感じてしまう場面があった事については申し訳なく思います。今後も誠意を持って対応していきたいと思っておりますので、ご理解お願い致します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1			・新たな取り組みもして頂きありがたいです	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			・計画にある活動の様子をご報告いただいています ・スタッフさんの個々の意識の差が大きいように思う	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	3			・色々企画もあり良いなと思っています	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	12	・親としては地域の他の子どもと活動する機会はないと思っている ・事業所としての努力をしていることは感じています	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27				・契約時、丁寧に説明していただきました		
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	1	3	・去年位から、バラエティーに富んだイベントが立案されていると思う。利用者の立場に立って考えて下さりありがたい。また参加したいと思っています	保護者や兄弟児が楽しんで参加できるような企画を今後もたくさん計画していきます。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2			・良く本人のことを理解して下さっています ・子どもの様子を細かく教えてくださるので安心できます ・送迎時のスタッフさんとのやり取り(様子を伝えていただける)が楽しいです		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1			・細かいことまでお教えいただいています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3	1		・あまりスタッフの人と関わることがないので何とも言えず	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	2	1	2	・家族参加型のイベントで交流が出来、楽しく過ごしています ・兄弟はいますが、配慮されていると感じる ・兄弟からすると、きょうだい同士の交流は必要ないと言っています。欲しいのは親の愛情であって、共感（きょうだい児としての）ではないのだと思います ・きょうだい向けのイベントがあるのか把握できておらず	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2		1	・相談するといつも迅速に対応して下さるので助かります ・何かお伺いすると必ずすぐお答えをいただけています	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	1		・LINEの使用はとても助かります ・週に一度の利用なので情報が昔になっ ていることが多い	・参加申し込み等、メ切のある書類についてはLINEでの配信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2		3	・説明される努力は感じています	策定をしているが保護者と共有する場がないため、今後保護者会等での発信も行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		2	・そういう状況に出くわしたことがないと思うので分からず	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27				・かなりリラックスしていると思います	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2			・学校→デイのため様子を見ておらず ・とても楽しみにしています ・色々な方から声をかけて頂き嬉しいと思います ・気持ちは分らないですがスタッフさんのことは大好きだと思います ・いつも喜んで行っています	上記項目を含め、良い評価を頂けていてありがたく思います。今後も利用児が楽しく充実した活動ができるよう取り組んでいきたいと思 います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				・色々な企画を考えてくれて楽しいです。 家族の思いにも寄り添ってくれています ・本当にいつも良くしていただきありがたいです ・細かい所まで見てくれて感謝です ・色々な経験をさせていただきありがとうございます ・もちろん。すいている時に送迎の提案してくれたり、うれしいです。	また、保護者、兄弟児も楽しめるようなイベントも多く開催していきたいと思っています。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわり（放課後等デイサービス）		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	2		活動内容や人数によって、車椅子から降りて活動するためのマットの枚数調整して、スペースを確保している	活動室の広さは足りているが、利用曜日、利用児数により狭さを感じる事がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	4		職員同士の声掛けにより、支援が不十分にならないようにしている。	職員配置は足りているが、利用曜日、利用児数により不足感がある時がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		2	2		整理整頓ができていない事が多かったが、年度後半は職員間で意識するようにして改善している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		2		使っていない物は片付けている。	整理整頓ができていない事が多かったが、年度後半は職員間で意識するようにして改善している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		1		子どもの希望や特性、活動内容によって活動室を分けて活動を提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	3	2	非常勤職員からも意見を吸い上げながら、主に常勤職員が実施、非常勤職員に伝達している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	2	3	自己評価の結果を踏まえて改善を行っている。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	1	1	自己評価の結果を踏まえて改善を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	2	4		実施していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		1		虐待防止、身体拘束、BCP、感染症の義務化されている研修の他、職員から要望のある研修等を開催している。 新職員には理学療法士から介助方法や腰痛対策の研修を実施している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		1	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	2	1	非常勤職員からも意見を吸い上げながら、主に常勤職員が実施、非常勤職員に伝達している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		2	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	1	2	日々の様子をデータで残し、職員で共有できるようにしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		2	3		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		3	3	通常活動はフロア運営の担当職員が主体となって決めており、行事については常勤職員が担当を分担して実施している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	2			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		1			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		2		実施している。 特に通常と違う動きの活動の場合は、細かく打ち合わせをしてから支援に入っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		1	2	PCのデータに残し、その日勤務していない職員にも情報共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		4		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		4		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	2	4		『4つの基本活動』というものを周知できていない。今後職員間で周知していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	1			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	1	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	1	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		6	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		4	5	事業所の職員は参加していないが、法人として参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	3	4	面談等で専門職も同席し、発達、健康、身体面などのアドバイスも実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	1	3	契約時に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		3		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	1	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1		1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	1		3	保護者、兄弟児も参加可能な行事を多く開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		1	1	LINEを使用して連絡等を行っている。活動の様子は施設通信やLINEで写真を保護者が見れるようにし、活動の様子や雰囲気をお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		1			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12					

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	3	1	地域で開催されている『あおぞらマルシェ』に参加し、遊びブースを提供。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	2			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12					
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12					
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12					
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		2	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	1	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		1			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		1		年数回、虐待防止のアンケートを職員間で実施し、支援について全職員で検討する会議を行っている。 法人主催の虐待防止研修も年1回実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	1	1		